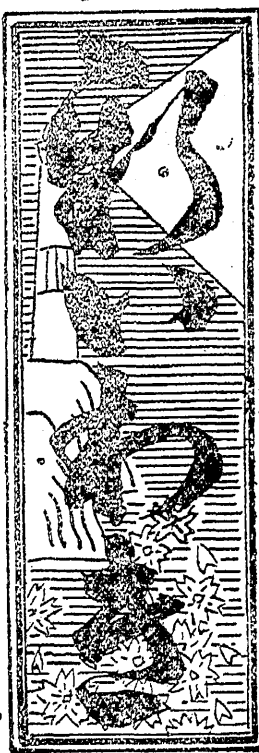


【刊夕】日四月五



休日曜大祭日
部月廿五
部月十五
部月十
部月五
部月一
部月一
部月一
部月一
部月一
部月一

愈よ七月一日から

直營の煙草元賣捌

平町では専賣局出張所に 接續して賣捌所を新築か

平町に於ける煙草元賣捌所が尙ほ直營後の賣捌所を
も愈よ来る七月一日から專何處にするか從來のまゝ中
賣局直營に移るので同町野勇吉氏の家屋を借受ける
張所では目下その準備中で様な説もあるが局の出張所
あつて六月末日までに採用と賣捌所が
を決める現在元賣捌所の
海老根 會計外三名
の事務員及び七名の賣夫並
に小名濱と植田兩出張賣捌
所に於ける各事務員一及び
賣夫二名の合計十七名から
それ〴〵履歴等を取纏め成
るべく
失業者 を出さぬ方
針を以て調査中の模様であ
る

景氣直りの現象か

求人人口が漸く多い

商業方面は依然振はぬが 昨年の同期よりも好成績

平町職業紹介所に於ける去
る四月中の成績は左記の如
く求人八十八に對する求職
七十四で内就職したるもの
六拾名を上げてゐる此の職
業別は

水道工

求人が 卅四口を

平町職業紹介所に於ける去
る四月中の成績は左記の如
く求人八十八に對する求職
七十四で内就職したるもの
六拾名を上げてゐる此の職
業別は

平町職業紹介所に於ける去
る四月中の成績は左記の如
く求人八十八に對する求職
七十四で内就職したるもの
六拾名を上げてゐる此の職
業別は

小野田坑で 新斜坑

明五盛大なる起工式

石城郡野崎村の小野田炭礦
は戸部光衛氏の先經營で
好成績を収めてゐるが同礦
では今回史上宇湯長屋地
内に新斜坑開鑿の計畫を立
て明五日起工式を舉行の筈
であるが豫算工費は五萬圓
で六月頃着炭する見込であ
る

大浦農倉の 俵米共販

一俵六圓九六錢 前回より下落す

石城郡四倉前大浦農業倉
庫に於ける去一日の俵米共
同販賣は決定價格六圓九
五錢を以て三百八俵の出荷
あつたが結果は六圓九六
圓九十六錢で落札した前回
の取引に比すれば一俵に付
十八錢の下落で等級別を上
ぐれば左記の如くである

地方農事の 協議會

来る八日平町 團體事務所

本縣主催の地方農事協議會
は来る八日午前九時から平
町公共團體事務所樓上に於
て催されるが同會の出席者
は石双兩部に於ける農業技
術員並に郡農會役員検査員

平町役場の 人事異動

小使二名と 吏員一名の

平町役場に於ける人事整理
の入替へは伏見町長にも傾
重の態度をとられてゐるが
今日日缺席中の小使に金成
留吾、下妻義雄、坪井峯治
二中老の雇傭がきまり給仕
金子保君が昇格登用された
外左記の異動があつた

母の會

来る六日午 後平館にて

平町に於ける来る五日の乳
幼児愛護デーに伴ふ母の會
は六日午後一時から平館
に講演と活動寫眞會を催す
等であるが講演は同町醫師
小兒科渡邊久、川井女醫二
氏の講師で映畫説明は縣社
會課の加賀屋外一名の由

民政黨石城部會の 更重總會は明五日

一と騒動が免かれぬ模様

石城郡の民政黨部會が萩原樂部に開備される左記通知
若松の二幹部野崎縣議の書を一
間に激越なる反目ありて縣
支部幹部にも殆んど收拾し
持ない混亂紛争に陥り居る
は慶報の如く最近

俳句

和春軟風

其雲雀ではないが思ひ出づ
れば去年の五月「新しいわき」
誌の生れ出づる間もなく「月日
を嘲り通ふせるものかをさらし
て空を恐ろしき心地さへせまし
相かはらす御愛讀を
縁となりてこゝに一年廻らるゝ
のでありませぬ早止賜はりました
と野邊の雲雀に
ぬ筆を呵しつゝ俳句に川柳めやう
と筆を抛ちし事もた
つらじものとしきりに嘲り
強の説附會の議談れる解等だ
たられば乗り易い性習
莊主人

第五區方部 聯合青年會

平の人事

石城郡教育會第五區に於
ける澤渡、三坂、永戸、箕
輪方部聯合青年團總會は昨
三日澤渡小學校に於て開催
した

平の人事

出生

平町字見町四〇本籍安部郡喜久
田村齊藤眞雄長女てり子年五月八
十二日午前三時

平の人事

婚姻

平町字田町三本籍東白川郡鈴木
忠次(二三)と平町字新川町二二吉
田と(二三)五月四日

第五區方部 聯合青年會

平の人事

石城郡教育會第五區に於
ける澤渡、三坂、永戸、箕
輪方部聯合青年團總會は昨
三日澤渡小學校に於て開催
した

平の人事

出生

平町字見町四〇本籍安部郡喜久
田村齊藤眞雄長女てり子年五月八
十二日午前三時

平の人事

婚姻

平町字田町三本籍東白川郡鈴木
忠次(二三)と平町字新川町二二吉
田と(二三)五月四日



ポルドー液
と石油乳劑の
調製法(一)

石灰ポルドー液の簡易な作り方を述べて見やう、先づ四斗式の製法ならば一つの桶に石灰二〇斗を入れて温湯を少しづつ加へながら消化せしめる、この通り方は相當の熱線を生ずるも、温湯を一度にとつと加へると炭酸石灰に變り易く調製法に洗滌し且つ殺菌力を減するから充分に消化させた後に水三斗を加へよく攪拌して置く、それから別の小桶には粉砕した硫酸銅液二〇斗を入れ、湯五斗位を加へて攪拌し溶解せしめ、水を加へて一斗となし前に作つてある石灰を激しく攪拌しながら徐々に硫酸銅液を移し込み五分ほど攪拌するのである、尚ほ硫酸銅液に井水を加へ一斗とするには温湯で溶解した場合には井水の量が餘り少ない時は硫酸銅が微温で良い液が出来ないから注意する此の方法でやると一人又は二人の手を要する位のもので桶も二つで足り、婦女子にも出来る、製劑上についての注意を上げれば

生石灰の消化不完全であると良好なる液を製し得ない、生石灰には徐々に温湯にて加水し泥状とするのである

プラトン 万年筆
プラトン インキ

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

急ぎの需めに
應じます

看護婦
磐城看護婦會
電話七三二五番

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療新藥

アイヨール錠
試用 二圓
中 六圓
大 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります
そばから 三升 八錢
そばこ 八錢
そば 一バ 五錢

平町土橋 福麥 マルマン商店 電話四八九番

磐城 病院案内
本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低減致候御参考迄の上候

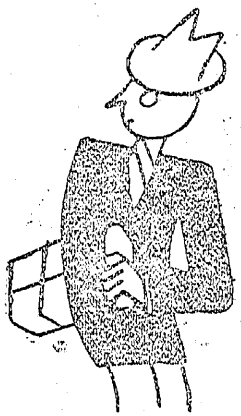
入院料 一般 金四圓也
往診料 限り、一般金三圓也
本院金三圓也
本院金二圓也

内科 小兒科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科
産婦 女子泌尿科
人科
耳鼻咽喉科
院長 醫學博士 石山謙郎
本院主 賀澤忠治

本院 救療を申込る、方は當
本院 救療を申込る、方は當
本院 救療を申込る、方は當

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 醫學士 高久忠

模範 裁縫
高島屋の洋服
平町駅前 電話三八六番



新柄着荷
高島屋へ
御用意は

内科 小兒科
外科 皮膚泌尿科
梅毒 淋病
市原醫院
電話一四一

入院應需
藤沼醫院
電話七〇五番

高島屋の洋服
平町駅前 電話三八六番

初夏のサロン
樽詰 生ビール を召せ
カップ一杯十五錢
そして酔つた後に
心地よい アイスクリーム
も御座います 一ケ十五錢
電話三五二番

味の醬油
正宗
山崎會社
電話 釀造部 二七番
營業部 一〇番

服んで良くとく
(絶対に胃腸を害さぬ)
淋病と
消渴の
特効藥 濟淋
本舖 責任製劑 水野藥局
平町一丁目
電話 八八七六

婦人洋傘
通學用雨マント
雨洋傘
取揃ました
春晴ワイシャツ
モリタヤ洋品店
平五丁目電話三五三番